



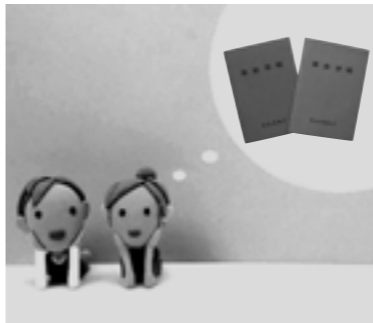
病气やけがで障がいになったとき 障害基礎年金をどう存じですか

町民課 年金係
熊本市年金事務所(お客様相談室)
☎(232)4914
☎(353)0142

障害基礎年金は一定の障がいが生じたときに受給できる年金です。年金請求の手続き後、受給要件や障がいの状況などを審査して受給が決まります。

病气やけがになったときは 障害基礎年金の申請を

- 障がいの原因となった傷病の初診日
- ① 20歳前または国民年金に加入している期間であること
- ※厚生年金・共済年金の加入期間中は、年金事務所(厚生年金加入者)か共済組合(共済加入者)での手続きになります。
- ② 被保険者の資格を喪失した後、日本に住所がある6歳〜65歳未満であること(年金を繰上げ請求していない人)



- 受給要件
- ① 障害認定日の障がいの程度が国民年金法に定める「1級」か「2級」に当てはまること
- ② 初診日が属する月の前々月までに、保険料を納めた期間と免除・納付猶予の期間の合算した期間が加入期間の3分の2以上または初診日が平成38年3月31日までの場合は初診日の属する月の前々月までの1年間に未納がないこと
- ※障害認定日とは、原則障がいの原因となった傷病の初診日から1年6カ月を経過した日です。それ以前に症状が固定したときはその日になります。
- 障害年金額(平成28年度・年額)
- 1級 975,125円
- 2級 780,100円
- ※18歳到達年度の末日までの子や一定以上の障がいがある20歳未満の子の生計を維持している場合は、一定額が加算されます。

限りなく広がる物語の世界

第27回菊陽町読書感想画コンクール

菊陽町読書感想画コンクールも27回目を迎え、今年度は約4,300点の作品の中から、審査の結果、30点の特選作品が選ばれました。作品は町内の小・中学校8校の児童・生徒が夏休みの課題や授業で制作。どの作品も見ただけで本の内容が思い起こされるほど生き生きと描かれています。

受賞作品は12月7日(水)〜19日(月)、菊陽町図書館ロビーに展示しますので、ぜひご覧ください。



古閑 健瑠(菊陽中部小4年)
書名「とらとほしがき」
絵の題名「ほしがきにつかまった」



寺本 彩乃(菊陽中2年)
書名「RDG レッドデータガール6 星降る夜に願うこと」
絵の題名「見上げれば、そこは星空だった」

○受賞者一覧(敬称略)

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
小1	中村 陽翔	菊陽南小学校	小4	古閑 健瑠	菊陽中部小学校	中1	とみなが 舜平	菊陽中学校
	府内 萌華	菊陽西小学校		徳満 璃星	菊陽中部小学校		木下 元希	武蔵ヶ丘中学校
	平坂 美貴	武蔵ヶ丘北小学校		相方 煌	菊陽西小学校		李 佳音	武蔵ヶ丘中学校
小2	宮本 美空	菊陽北小学校	小5	森 遥者	武蔵ヶ丘北小学校	中2	春白 聖也	菊陽中学校
	水上 倫太郎	菊陽西小学校		本田 勇成	武蔵ヶ丘小学校		寺本 彩乃	菊陽中学校
	渡辺 紫音	菊陽西小学校		原田 和佳	菊陽西小学校		岩崎 衣里子	武蔵ヶ丘中学校
小3	上村 優衣菜	菊陽中部小学校	小6	松高 紗也	武蔵ヶ丘北小学校	中3	岩永 琉吉	菊陽中学校
	吉川 緑	菊陽北小学校		江藤 香帆	武蔵ヶ丘小学校		中野 紅葉	菊陽中学校
	川上 寧々	武蔵ヶ丘小学校		岩見 舞花	菊陽西小学校		赤崎 純怜	武蔵ヶ丘中学校
	白男川 優羽	菊陽西小学校		山本 梨央奈	菊陽西小学校		橋本 円花	武蔵ヶ丘中学校

豊かな農地と清らかな水、そして美しい農村環境を守る活動 菊陽町農地・水・環境保全組織

農村環境を守るため、草刈り清掃や関連施設の補修、花植えなどの活動に取り組んでいます。

今年度は4月からの地震と大雨で農道陥没や水路・法面の崩壊が相次ぎました。各活動組織では、災害復旧を含めた活動を積極的に進めています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

■平成28年度活動組織(21支部)

古閑原、入道水、柳水、馬場、鉄砲小路、新町、南方、中尾、上中代、出分、中代、川久保、津留、大堀木、上津久礼、下津久礼、井口、辛川、曲手、馬場楠、戸次

■問い合わせ

菊陽町農村環境保全隊事務協議会
☎(293)7522
菊陽町役場農政課
☎(232)4916



地震で崩壊した水路や農用地法面の補修などに迅速に対応します



水路、農道沿いの草刈りやゴミ拾い清掃



大雨で堆積した土砂の泥上げ



水路、側溝の目地詰めなどの補修



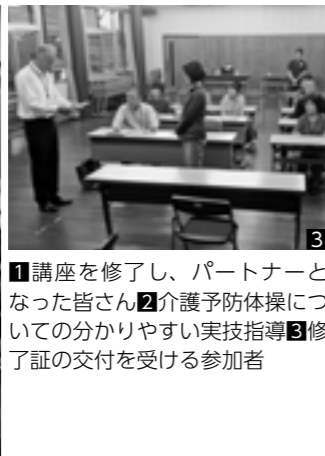
景観形成のための遊休農地や農道沿いの花植え

地域で介護予防を広めよう

さんさん介護予防パートナー養成講座

さんさん介護予防パートナー養成講座修了式が10月25日、福祉支援センターで行われ、10人のパートナーが誕生しました。介護予防パートナーとは、介護予防の知識・技術を習得し、地域で介護予防活動に取り組みボランティアのことです。修了生は全6回の講座と全2回の実技研修で、介護予防体操や認知症予防、お口の健康、低栄養予防、ボランティア活動などを学習しました。

修了証を手にした修了生は、「他の参加者と一緒に楽しく学ぶことができた。ここで勉強したことを地域に伝えてい



1 講座を修了し、パートナーとなった皆さん
2 介護予防体操についての分かりやすい実技指導
3 修了証の交付を受ける参加者

ことが出来ます。今回の開催は1月31日(火)からです。